

株式交換に係る事前開示書面

(会社法 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 193 条に定める書面)

2020 年 11 月 9 日

三谷セキサン株式会社

2020年11月9日

株式交換に係る事前開示事項

福井県福井市豊島一丁目3番1号
三谷セキサン株式会社
代表取締役社長 三谷 進治

当社は、2020年11月9日付でセキサンプーシー株式会社（以下、「セキサンプーシー」といいます。）及び東北セキサン株式会社（以下、「東北セキサン」といいます。）の2社（以下、「対象2社」といいます。）との間で締結した株式交換契約（以下、本株式交換契約）に基づき、2021年1月4日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、対象2社をそれぞれ株式交換完全子会社とする株式交換（以下、「本株式交換」といいます。）を行うことといたしました。

本株式交換に関する会社法第794条第1項及び会社法施行規則第193条に定める当社の事前開示事項は下記のとおりです。なお、本株式交換は、当社においては会社法第796条第2項に定める簡易株式交換に該当します。

記

1. 株式交換契約の内容（会社法第794条第1項）
別紙1のとおりです。
2. 会社法第768条第1項2号及び第3号に掲げる事項についての定め相当性に関する事項（会社法第794条第1項、会社法施行規則第193条第1号）
別紙2のとおりです。
3. 会社法第768条第1項4号及び第5号に掲げる事項についての定め相当性に関する事項（会社法第794条第1項、会社法施行規則第193条第2号）
該当事項はありません。
4. 株式交換完全子会社についての次に掲げる事項（会社法第794条第1項、会社法施行規則第193条第3号）
 - (1) 最終事業年度に係る計算書類等の内容
別紙3のとおりです。

(2) 最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容

該当事項はありません。

(3) 最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

該当事項はありません。

5. 当社において最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

(会社法第 794 条第 1 項、会社法施行規則第 193 条第 4 号)

該当事項はありません。

6. 株式交換が効力を生ずる日以降における当社の債務の履行の見込みに関する事項

(会社法第 794 条第 1 項、会社法施行規則第 193 条第 5 号)

本株式交換は会社法第 799 条第 1 項の規定の適用を受けないため、該当事項はありません。

以上

別紙 1 本株式交換契約の内容

次ページ以降をご参照ください。

株式交換契約書

三谷セキサン株式会社（住所：福井県豊島一丁目3番1号。以下「甲」という。）およびセキサンピーシー株式会社（住所：福井県福井市中毘沙門第1号1番地1。以下「乙」という。）は、以下のとおり株式交換契約を締結する。

第1条（株式交換）

乙は、本契約に定めるところに従い、甲を株式交換完全親会社、乙を株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」という。）を行い、甲は、乙の発行済株式の全部を取得する。

第2条（乙の株主に交付する甲の株式の数およびその割当て）

- 1 甲は、本株式交換に際して、乙の株主に対し、その保有する乙の株式に代わり、本株式交換の効力発生の直前時における乙の発行済株式（甲が保有するものを除く。）の総数に、3.5を乗じて得た数の甲の普通株式を、甲の保有する自己株式から割り当て交付する。
- 2 甲は、本株式交換に際して、本株式交換の効力発生の直前時における乙の株主名簿に記載又は記録された乙の株主（甲を除く。）に対し、その保有する乙の株式1株につき甲の普通株式3.5株の割合をもって割り当てる。
- 3 前二項に従って乙の株主に対して交付する甲の普通株式の数に1株に満たない端数が生じる場合、甲は、会社法第234条の規定に従い処理する。

第3条（甲の資本金および準備金の額に関する事項）

本株式交換により増加する甲の資本金および準備金の額は、次のとおりとする。

- (1) 資本金の額 0円
- (2) 資本準備金の額 会社計算規則第39条の規定に従い甲が別途定める額
- (3) 利益準備金の額 0円

第4条（効力発生日）

本株式交換の効力発生日は、2021年1月4日とする。ただし、本株式交換の手の進行上の必要性その他の事由により必要な場合、甲および乙が協議し合意の上、これを変更することができる。

第5条（本契約の承認）

- 1 甲は、会社法 796 条 3 項本文の規定により、本契約について同法 795 条 1 項に定める株主総会の承認を得ないで本株式交換を行う。
- 2 乙は、株主総会において本契約の承認を得るものとする。

第6条（本契約の変更および解除）

本契約の締結日から効力発生日までの間、天災地変その他の事由により、甲または乙の資産状態もしくは経営状態に重要な変動が生じたとき、または本契約の目的の達成が困難になったときは、甲および乙は、協議し合意の上、本株式交換の条件その他本契約の内容を変更し、または本契約を解除することができる。


第7条（協議）


本契約に定めるもののほか、本株式交換に必要な事項は、本契約の趣旨に従い、甲および乙が協議の上、これを定める。

以 上

本契約締結の証として、本契約書 2 通を作成し、記名押印の上、各自その 1 通を保有する。

2020 年 11 月 9 日

甲：
福井市豊島1丁目3番1号
三谷セキサン株式会社
代表取締役社長 **三谷進治** 

乙：
福井市中毘沙門町第1号1番地1
セキサンピーシー株式会社
代表取締役社長 **大森保明** 

株式交換契約書

三谷セキサン株式会社（住所：福井県豊島一丁目3番1号。以下「甲」という。）および東北セキサン株式会社（住所：宮城県亶理郡亶理町道田西21番地1。以下「乙」という。）は、以下のとおり株式交換契約を締結する。

第1条（株式交換）

乙は、本契約に定めるところに従い、甲を株式交換完全親会社、乙を株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」という。）を行い、甲は、乙の発行済株式の全部を取得する。

第2条（乙の株主に交付する甲の株式の数およびその割当て）

- 1 甲は、本株式交換に際して、乙の株主に対し、その保有する乙の株式に代わり、本株式交換の効力発生の直前時における乙の発行済株式（甲が保有するものを除く。）の総数に、40.5を乗じて得た数の甲の普通株式を、甲の保有する自己株式から割り当て交付する。
- 2 甲は、本株式交換に際して、本株式交換の効力発生の直前時における乙の株主名簿に記載又は記録された乙の株主（甲を除く。）に対し、その保有する乙の株式1株につき甲の普通株式40.5株の割合をもって割り当てる。
- 3 前二項に従って乙の株主に対して交付する甲の普通株式の数に1株に満たない端数が生じる場合、甲は、会社法第234条の規定に従い処理する。

第3条（甲の資本金および準備金の額に関する事項）

本株式交換により増加する甲の資本金および準備金の額は、次のとおりとする。

(1) 資本金の額 0円

(2) 資本準備金の額 会社計算規則第39条の規定に従い甲が別途定める額

(3) 利益準備金の額 0円

第4条（効力発生日）

本株式交換の効力発生日は、2021年1月4日とする。ただし、本株式交換の手の続の進行上の必要性その他の事由により必要な場合、甲および乙が協議し合意の上、これを変更することができる。

第5条（本契約の承認）

- 1 甲は、会社法796条3項本文の規定により、本契約について同法795条1項に定める株主総会の承認を得ないで本株式交換を行う。
- 2 乙は、株主総会において本契約の承認を得るものとする。

第6条（本契約の変更および解除）

本契約の締結日から効力発生日までの間、天災地変その他の事由により、甲または乙の資産状態もしくは経営状態に重要な変動が生じたとき、または本契約の目的の達成が困難になったときは、甲および乙は、協議し合意の上、本株式交換の条件その他本契約の内容を変更し、または本契約を解除することができる。


第7条（協議）


本契約に定めるもののほか、本株式交換に必要な事項は、本契約の趣旨に従い、甲および乙が協議の上、これを定める。

以 上

本契約締結の証として、本契約書2通を作成し、記名押印の上、各自その1通を保有する。

2020年11月9日

甲：
福井市豊島1丁目3番1号
三谷セキサン株式会社
代表取締役社長 三谷進治 

乙：
宮城県亶理郡亶理町字道田西21番地1
東北セキサン株式会社
代表取締役社長 有賀純平 

別紙2 会社法第768条第1項2号及び第3号に掲げる事項についての定め相当性に関する事項

当社は、本株式交換に際して、会社法第768条第1項2号及び第3号に掲げる事項についての定め相当性に関して、次のように判断しております。

1. 本株式交換に係る割当ての内容

	当社 (株式交換完全親会社)	セキサンピーシー (株式交換完全子会社)
セキサンピーシーとの 株式交換に係る交換比率	1	3.5
本株式交換により 交付する株式数	当社普通株式 81,060株 (予定)	

当社は、本株式交換により当社がセキサンピーシーの発行済株式の全部を取得する時点の直前時におけるセキサンピーシーの株主に対して、その保有するセキサンピーシーの普通株式1株について、当社の普通株式3.5株を割当て交付いたします。

	当社 (株式交換完全親会社)	東北セキサン (株式交換完全子会社)
東北セキサンとの 株式交換に係る交換比率	1	40.5
本株式交換により 交付する株式数	当社普通株式 12,150株 (予定)	

当社は、本株式交換により当社が東北セキサンの発行済株式の全部を取得する時点の直前時における東北セキサンの株主に対して、その保有する東北セキサンの普通株式1株について、当社の普通株式40.5株を割当て交付いたします。

注1) 本株式交換により交付する株式の数：93,210株 (予定)

うち新たに発行する当社の新株式数：0株 (予定)

うち交付する自己株式数：93,210株 (予定)

注2) 単元未満株式の取扱い

本株式交換に伴い、対象2社の株主の皆様においては、当社の単元未満株式(1単元(100株)に満たない数の株式)を保有することが見込まれますが、単元未満株式については、東京証券取引所その他の金融商品取引所で売却することができません。当社の単元未満株

式を保有することとなる場合には、以下の制度をご利用いただくことができます。

単元未満株式の買取制度（単元未満株式の売却）： 会社法第 192 条第 1 項に基づき、当社に対し自己の保有する単元未満株式の 買取りを請求することができる制度です。

2. 本株式交換に係る割当ての内容の算定の根拠等

(1) 割当ての内容の根拠及び理由

当社及び対象 2 社は、独立した第三者算定機関である株式会社クリフィックス F A S から提出を受けた株式交換比率の算定結果、並びに当社及び対象 2 社の財務の状況、資産の状況、財務予測等の将来見通しを踏まえて、当社及び対象 2 社で慎重に協議を重ねた結果、最終的に、上記株式交換比率が、株式会社クリフィックス F A S の算定した株式交換比率の算定結果のレンジ内にあり、かつ、それぞれの株主の利益に資するものであるとの判断に至り、当該株式交換比率で合意いたしました。なお、当該株式交換比率については、算定の基礎となる諸条件について重大な変動が生じた場合、当社及び対象 2 社が協議し合意のうえ、これを変更することがあります。

(2) 算定に関する事項

①算定機関の名称並びに当社及び対象 2 社との関係

本株式交換の株式交換比率につきましては、その公平性・妥当性を確保するため、当社及び対象 2 社から独立した第三者算定機関である株式会社クリフィックス F A S に依頼をし、2020 年 11 月 6 日付で、株式交換比率に関する算定書を取得いたしました。なお、株式会社クリフィックス F A S は、当社及び対象 2 社の関連当事者には該当せず、当社及び対象 2 社のいずれの間でも重要な利害関係を有しておりません。

②算定の概要

株式会社クリフィックス F A S は、当社の株式については、東京証券取引所に上場しており、市場株価が存在することから、市場株価法（算定基準日を 2020 年 11 月 6 日とし、算定基準日の終値及び算定基準日から遡る 1 か月、3 か月、6 か月の各期間の株価終値の出来高加重平均）を採用して価値の算定を行いました。また、非上場会社である対象 2 社の株式については、セキサンピーシーについては収益還元法及び修正簿価純資産法、東北セキサンについては修正簿価純資産法を採用して価値の算定を行いました。当社及び対象 2 社は、これらの算定結果を参考に、協議のうえ、諸般の事情を総合的に勘案して、株式交換比率を決定いたしました。

なお、株式交換比率の前提として、当社及び対象 2 社が大幅な増減益となることや、資産及び負債の金額が直近の財務諸表と比べて大きく異なることなどは見込んでおりません。

当社

採用手法	算定結果（円）
市場株価法	4,955 ～ 5,693

セキサンピーシー

採用手法	算定結果（円）
収益還元法	18,480
修正簿価純資産法	18,845

東北セキサン

採用手法	算定結果（円）
修正簿価純資産法	214,748

当社株式の1株あたりの株式価値を1とした場合において、上記算定方法により算定された対象2社の普通株式1株あたりの株式価値の算定結果は、以下のとおりです。

採用手法		株式交換比率の算定レンジ
当社	セキサンピーシー	
市場株価法	収益還元法	3.25 ~ 3.73
市場株価法	修正簿価純資産法	3.31 ~ 3.80

採用手法		株式交換比率の算定レンジ
当社	東北セキサン	
市場株価法	修正簿価純資産法	37.72 ~ 43.34

3. 交換価値として当社の株式を選択した理由

当社株式は東京証券取引所において取引されており、本株式交換後において市場における取引機会が確保されていることから、本株式交換の対価として当社の普通株式を選択することが適切であると判断いたしました。

4. 株式交換完全親会社の資本金及び準備金の額の相当性に関する事項

本株式交換により増加する当社の資本金及び準備金の額は、会社計算規則第39条第2項の規定に従い、当社が別途適当に定める額といたします。かかる取扱いについては、法令及び当社の資本政策に鑑み、相当であると考えております。

第 5 6 期

事 業 報 告 書

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月 31日

セキサンピーシー株式会社

福井市中毘沙門町第1号1番地1

貸 借 対 照 表

(2020年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	構成比	科 目	金 額	構成比
資産の部			負債の部		
【流動資産】	3,431,343	88.5	【流動負債】	1,111,872	28.7
現金及び預金	1,417,269		支払手形	599,367	
受取手形	288,154		買掛金	320,085	
売掛金	510,007		短期借入金		
製品	205,452		設備未払金	29,259	
原材料	18,668		工事未払金	16,831	
貯蔵品	1,028		未払消費税等	20,096	
前渡金	3,039		未払法人税等	43,941	
短期貸付金	1,000,000		未払費用	36,219	
未収入金	667		前受金	4,917	
前払費用	623		仮受金		
仮払金	10		預り金	5,235	
繰延税金資産			賞与引当金	35,918	
貸倒引当金	△ 13,577				
【固定資産】	447,634	11.5	【固定負債】	50,302	1.3
有形固定資産	379,583	9.8	退職給付引当金	45,449	
建物	173,779		リース債務	2,921	
構築物	29,901		その他固定負債	1,930	
機械及び装置	56,148		繰延税金負債		
車輛運搬具	20,158		負債合計	1,162,174	30.0
器具工具備品	45,019				
リース資産	2,921				
土地	51,653		純資産の部		
無形固定資産	17,281	0.4	【株主資本】	2,713,505	70.0
ソフトウェア	16,239		資本金	76,755	
その他無形固定資産	1,041		利益剰余金	2,636,750	
投資その他の資産	50,770	1.3	利益準備金	19,188	
投資有価証券	6,951		その他利益剰余金	2,617,562	
出資金	230		別途積立金	2,376,000	
差入保証金	2,095		研究開発積立金	20,000	
リサイクル預託金	299		繰越利益剰余金	221,562	
長期前払費用	1,329		【評価・換算差額金】	3,297	0.0
長期化営業債権			その他有価証券評価差額金	3,297	
繰延税金資産	39,864				
貸倒引当金					
			純資産合計	2,716,803	70.0
資産合計	3,878,978	100.0	負債・純資産合計	3,878,978	100.0

(注) 有形固定資産の減価償却累計額

2,351,842 千円

損 益 計 算 書

〔 自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月 31日 〕

(単位:千円)

科 目	金 額		百分比
売 上 高		4,026,164	100.0
売 上 原 価		3,358,010	83.4
売 上 総 利 益		668,154	16.6
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		362,601	9.0
営 業 利 益		305,552	7.6
営 業 外 収 益			
受 取 利 息	10,027		
受 取 配 当 金	131		
その他の営業外収益	7,750	17,909	0.4
営 業 外 費 用			
支払利息割引料	32		
その他の営業外費用	4,901	4,933	0.1
経 常 利 益		318,528	7.9
特 別 利 益			
その他の利益	703	703	0.0
特 別 損 失			
その他の損失	42,284	42,284	1.1
税引前当期純利益		276,946	6.9
法人税、住民税及び事業税	94,260		
法人税等調整額	1,680	95,940	2.4
当 期 純 利 益		181,006	4.5

(注) 当期減価償却資産の減価償却実施額

82,965 千円

株主資本等変動計算書

〔 自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月 31日 〕

(単位:千円)

	株 主 資 本						
	資本金	利 益 準備金	その他利益剰余金			利 益 剰余金 合 計	株 主 資 本 合 計
			研 究 開 発 積立金	別 途 積立金	繰 越 利 益 剰余金		
当期首残高	76,755	19,188	20,000	2,226,000	207,441	2,472,630	2,549,385
当期変動額							
別途積立金の積立(注)				150,000	△ 150,000		
剰余金の配当(注)					△ 16,886	△ 16,886	△ 16,886
当期純利益					181,006	181,006	181,006
株主資本以外の 項目の当期中の 変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	150,000	14,120	164,120	164,120
当期末残高	76,755	19,188	20,000	2,376,000	221,562	2,636,750	2,713,505

(単位:千円)

	その他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	評 価・ 換 算 差 額 等 合 計	純資産 合 計
当期首残高	3,822	3,822	2,553,208
当期変動額			
別途積立金の積立(注)			
剰余金の配当(注)			△ 16,886
当期純利益			181,006
株主資本以外の 項目の当期中の 変動額(純額)	△ 525	△ 525	△ 525
当期変動額合計	△ 525	△ 525	163,595
当期末残高	3,297	3,297	2,716,803

(注)2019年6月5日開催の定時株主総会における利益処分項目である。

個別注記表 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

I. 重要な会計方針に係る事項

1. 資産の評価基準及び評価方法

A. 有価証券の評価基準及び評価方法

- a. 時価のあるもの： 事業年度末日の市場価格に基づく時価法
- b. 時価のないもの： 移動平均法による原価法

B. 棚卸資産の評価方法

総平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

a. 有形固定資産： 定率法

1998年4月1日以降に取得した建物： 定額法

2016年4月1日以降に取得した構築物： 定額法

b. 無形固定資産： 定額法

3. 引当金の計上基準

a. 貸倒引当金

一般債権： 法人課税の法定繰入率により計上

貸倒懸念債権： 回収可能性を勘案して計上

b. 賞与引当金

支給見込額の当期負担分を計上

c. 退職給付引当金

期末要支給額を計算し中退共積立金を減じた残額分を追加計上

4. リース取引の処理方法

所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理

5. 消費税等の会計処理

税抜き方式

II. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当事業年度末日における発行済株式の数 153,510 株

2. 当事業年度に行った剰余金の配当に関する事項

2019年6月5日の定時株主総会において、次の通り決議した。

配当金の総額 16,886,100 円

配当金の原資 利益剰余金

1株当たり配当額 110 円

基準日 2019年3月31日

効力発生日 2019年6月6日

3. 当事業年度末日後に行う配当に関する事項

2020年開催の定時株主総会において、次の議案を付議する。

配当金の総額 16,886,100 円

配当金の原資 利益剰余金

1株当たり配当額 110 円

基準日 2020年3月31日

Ⅲ. その他の注記

(1) 1株当たり純資産	17,697.89 円
1株当たり当期純利益	1,179.12 円

第 17 期
事業報告書

自 2019 年 4 月 1 日

至 2020 年 3 月 31 日

東北セキサン株式会社



宮城県亶理郡亶理町字道田西 21-1

貸借対照表

2020年3月31日 現在

会社:東北セキサン

(単位:千円)

借方			貸方		
科目	当期		科目	当期	
	金額	構成比		金額	構成比
流動資産	357,994	72.8%	流動負債	269,772	54.8%
現金	60	0.0%	支払手形	22,561	4.6%
預金	5,439	1.1%	電子記録債務	131,857	26.8%
売掛金	249,721	50.7%	買掛金	92,268	18.8%
製品及び商品	64,486	13.1%	未払金	92	0.0%
原材料	26,159	5.3%	未払消費税	3,856	0.8%
仕掛品	502	0.1%	未払事業税等	458	0.1%
貯蔵品	11,730	2.4%	未払法人税等	1,510	0.3%
未収入金	-	-	未払費用	12,029	2.4%
前払費用	1,443	0.3%	預り金	802	0.2%
仮払金・立替金	-	-	賞与引当金	4,340	0.9%
貸倒引当金	▲1,547	▲0.3%	固定負債	12,539	2.5%
固定資産	134,083	27.2%	退職給付引当金	11,035	2.2%
(有形固定資産)	120,761	24.5%	繰延税金負債	1,504	0.3%
建物	20,451	4.2%	引当金	-	-
構築物	22,195	4.5%	負債合計	282,311	57.4%
機械装置	72,283	14.7%	株主資本	206,340	41.9%
車輛運搬具	93	0.0%	資本金	50,000	10.2%
器具工具	1,376	0.3%	資本剰余金	-	-
什器備品	4,363	0.9%	利益剰余金	156,340	31.8%
(無形固定資産)	2,377	0.5%	利益準備金	1,530	0.3%
ソフトウェア	2,377	0.5%	その他利益剰余金	138,000	28.0%
(投資その他の資産)	10,945	2.2%	別途積立金	138,000	28.0%
投資有価証券	5,360	1.1%	繰越利益剰余金	16,810	3.4%
出資金	110	0.0%	前期繰越利益	1,355	0.3%
長期前払費用	442	0.1%	当期利益	15,455	3.1%
繰延税金資産	5,033	1.0%	その他有証評価差額金	3,426	0.7%
合計	492,077	100.0%	純資産合計	209,766	42.6%
			合計	492,077	100.0%

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 423,900 千円

損益計算書

自：2019年4月1日 至：2020年3月31日

会社：東北セキサン

(単位：千円)

	当期	
	金額	売上比
売上高	802,670	88.6%
完成工事高	103,486	11.4%
売上高	906,156	100.0%
期首製品商品	61,975	7.1%
製品製造原価	771,373	88.5%
仕入高	103,154	11.8%
他勘定振替	-	-
期末製品商品	▲64,486	▲7.4%
売上原価	872,016	96.2%
売上総利益	34,140	3.8%
管理販売費	12,008	1.3%
営業利益	22,131	2.4%
受取配当金	79	0.0%
雑収入	499	0.1%
貸倒引当金戻入	-	-
営業外収益	578	0.1%
寄付金	25	0.0%
貸倒引当金繰入	674	0.1%
雑損失	473	0.1%
営業外費用	1,172	0.1%
経常利益	21,537	2.4%
特別利益	-	-
固定資産除却損	-	-
特別損失	-	-
税引前当期純利益	21,537	2.4%
法人税及び住民税	1,522	0.2%
事業税	458	0.1%
法人税等調整額	4,102	0.5%
当期純利益	15,455	1.7%

(注) 当期減価償却資産の減価償却実施額 30,350千円

株主資本等変動計算書

自：2019年4月1日 至：2020年3月31日

会社：東北セキサン

(単位：千円)

項 目	株主資本						株主資本合計
	資本金	利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計	
			別途積立金	前期繰越利益	当期利益		
当期首残高	50,000	1,530	138,000	1,355	-	140,885	190,885
当期会計期間中の変動額	-	-	-	-	15,455	15,455	15,455
別途積立金の積立	-	-	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	-
利益準備金の積立	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	-	-	-	-	15,455	15,455	15,455
株主資本以外の項目の当期 会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-
当期会計期間中の変動額合計	-	-	-	-	15,455	15,455	15,455
当期末残高	50,000	1,530	138,000	1,355	15,455	156,340	206,340

(単位：千円)

項 目	評価・換算差額等		非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 差額金	評価・ 換算差額等 合計		
当期首残高	3,635	3,635	-	194,520
当期会計期間中の変動額	-	-	-	15,455
別途積立金の積立	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-
特別償却準備金	-	-	-	-
当期純利益	-	-	-	15,455
株主資本以外の項目の当期 会計期間中の変動額(純額)	▲209	▲209	-	▲209
当期会計期間中の変動額合計	▲209	▲209	-	15,246
当期末残高	3,426	3,426	-	209,766

個別注記表

I. 重要な会計方針に係る事項

1. 資産の評価基準及び評価方法

A. 有価証券の評価基準及び評価方法

a. 時価のあるもの：事業年度末日の市場価格に基づく時価法

B. 棚卸資産の評価方法

先入先出法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

a. 有形固定資産：定率法

1998年4月1日以降取得の建物：定額法

b. 無形固定資産：定額法

3. 引当金の計上基準

a. 貸倒引当金

一般債権：法人課税の法定繰入率により計上

b. 退職給付引当金

期末要支給額を計上

4. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リースについては、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。

5. 消費税等の会計処理

税抜方式

II. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当事業年度末日における発行済株式の数 1,000株

2. 当事業年度に行った剰余金の配当に関する事項

2019年5月27日の定時株主総会において、決議されました。

配当金の総額	無配
基準日	2019年3月31日

3. 当事業年度末日後に行う配当に関する事項

2020年開催の定時株主総会において、次の議案を付議する。

配当金の総額	1,500,000円
配当金の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	1,500円
基準日	2020年3月31日

III. その他の注記

(1) 親会社に対する債権債務

① 短期金銭債権	249,720,795円
② 短期金銭債務	56,367,267円

(2) 親会社との取引高

① 売上高	906,155,798円
② 仕入高	330,165,048円
③ 営業取引以外の取引高	12,000,000円

(3) 1株当たりの純資産額	209,765円99銭
1株当たりの当期純利益	15,454円63銭